

1 児童生徒の学びをサポートするICT活用

(1) 主体的な学び

こんな実践

クラス全員で「かけ算タイムトライアル」に挑戦し、基礎・基本の定着を図った実践。

実践学校 D小学校

実践学年 2学年

実践時期 10月以降

単元・題材名 「かけ算」

学習指導要領との関係：A 数と計算 (3)



○ やり方 (電子黒板を利用)

- ①プレゼンテーションソフトで児童の人数分のかけ算の問題 (色, 形のカード) をページごとに作成します。
 - ②プレゼンテーションソフトを「スライドショー」モードにします。
 - ③児童は大型テレビの前に一列に並びます。
 - ④答えを言ったらタッチペンでテレビ画面を触ります。
 - ⑤タッチペンを後ろの児童に渡し, 次の児童も同様に答えを言ってタッチペンでテレビ画面を触ります。後ろの児童にタッチペンを渡します。
 - ⑥教師はストップウォッチで全員が終わるまでの時間を計ります。
- 児童が各自でタッチペンを持ち, テレビ画面を押すことで「参加した」「やり遂げた」という達成感を味わえます。また, 全員の合計タイムを更新しようと積極的に練習するようになります。できることもできないことも視覚化されるので, 自覚をもって学習に向かえるようになっていきます。



ここがポイント!

- ・電子黒板を活用することで準備が簡単にできます。また, 教師は取り組んでいる児童の表情が常によく見えるので, 的確な評価ができます。
- ・外国語活動等, 他教科での活用も可能です。

まとめ

- ・電子黒板を活用することで, 児童が主体的に活躍できる場が生まれ, 児童も教師も評価をしながら, 達成感を感じる授業につなげることができます。